

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	公園長寿命化対策事業			事業番号	32-104
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	重田 浩光	みどり公園課	陶山 晃	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり
		施策展開の方向	2	便利で機能的なまちをつくる
		施策	32	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進
予算事業名	有料公園施設(スポーツ施設)整備事業		地域公園整備事業費	
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	～	終了年度	
関連法令等	社会資本整備総合交付金交付要綱			
国・県の計画等	社会資本整備総合交付金(公園施設長寿命化計画策定調査)		計画期間	
関連個別計画	-		計画期間	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	市内の都市公園は、昭和40年代から現在に至るまで、主に開発行為や区画整理事業などにより整備されてきており、現在145箇所となっている。そのうち6割以上の公園は開設から20年以上が経過しており、公園施設の老朽化が目立ってきていることから、公園施設の長寿命化方針を策定し、計画的にその維持管理・更新を進めることが重要となっている。			
目的 (何をどうしたいのか)	公園施設の計画的な維持管理の方針や長寿命化対策を定め、維持管理予算の縮減や平準化を図り、公園施設の安全性確保と機能保全を行う。			
主な対象 (誰・何を対象に)	市民			
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設のの整備・更新を進めます。 一般公園の施設については、施設更新の優先度を定め、長寿命化を図るとともに老木・巨木化した樹木の緊急安全対策を進めます。 			
事業行程	項目	年度		
		28年度	29年度	
	有料公園施設長寿命化	総合運動公園体育館床改修	伊勢原球場観覧席改修 東富岡公園テニスコート改修	
	一般公園施設長寿命化	施設改修	公園施設調査、改修優先度、施設改修	
	公園遊具更新	11公園12遊具	11公園17遊具	
公園施設の緊急安全対策	樹木管理、除草業務の改善	樹木管理、除草業務の改善		
目 標	【指標名】	【現状】	年度	
			28年度	29年度
	公園遊具の更新数	23基	43基	60基



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	平成25年度にとりまとめた、有料公園施設長寿命化対策に基づき伊勢原市体育館の床面改修工事を行う。公園遊具については、前年度に引き続き、計画的に更新を進めていく。また、一般公園施設については、地元との懇談会を通して、公園の機能や役割、在り方を明らかにし、必要な長寿命化対策を講じていくこととする。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	有料公園施設長寿命化	総合運動公園体育館床改修	
	一般公園施設長寿命化	公園擁壁補修、アスレチック撤去	
	公園遊具更新	11公園12遊具	
公園施設の緊急安全対策	公園内の老朽化した樹木18本伐採		
実施した取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総合運動公園体育館メインアリーナ床の更新 ・11公園12遊具の更新 ・丸山公園擁壁補修、ふじやま公園アスレチック撤去 		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	公園遊具の更新数	23基	43基

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		114,008		千円					千円
内訳	国県支出金 ①	53,740		千円					千円
	地方債 ②	52,500		千円					千円
	その他特財 ③	0		千円					千円
	一般財源 (a)-①-②-③	7,768		千円					0 千円
国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金(公園・緑地等事業) 補助率:国1/2							
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期				
		その他							
人件費	正規職員	0.8	人	6,920	千円		人		千円
	その他の職員	0	人	0	千円		人		千円
	人件費合計 (b)	0.8	人	6,920	千円		人		千円
トータルコスト (a)+(b)				120,928	千円				千円
単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位				
		対象数	101,635		人				
	総事業費 / 対象数	1,190		円					

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	伊勢原市体育館床面改修、遊具更新、公園擁壁の補修など計画通り進捗した。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	長寿命化対策については、他市町による個別方針、検討課題であり、一律には比較できない。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	公共施設の計画的な維持管理の方針や長寿命化対策を定め、計画的に施設の維持管理・更新を図ることは、公園施設の安全確保と機能保全とともに、維持管理コストの削減につながり、有効性は高い。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	計画通りの目標達成が図られ、体育館の床面改修、遊具更新など、国の交付金の財源を確保し、効率的に工事を実施した。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	公園施設の長寿命化に係る点検調査などは専門性が求められるため、職員のみで対応することは困難であり、計画的に施設の維持管理・更新を進めるためには、今後、施設の点検調査委託をかけることも検討する必要がある。
次年度取組方針		公園施設長寿命化対策に基づき、伊勢原球場の観覧席の更新工事を行う。遊具更新については、前年度に引き続き、計画的に更新を進める。一般公園対策についても、地元との懇談会などを通じ、公園の機能や役割など明らかにし、必要な長寿命化対策を進めていく。		
所管部長による総評		公園施設の計画的な維持管理の方針や長寿命化対策を進め、公園施設の安全性確保と機能保全を図りつつ、維持管理予算の縮減等を図ることは重要であり、引き続き、本事業を推進する必要がある。		